



令和4年度総会のお知らせ！ 会場 大阪ガーデンパレス
 日時 令和4年4月17日(日) 〒532-0004
 受付 11:00 開会 12:00 大阪市淀川区西宮原1丁目3番35号
 TEL(06)6396-6211

〈発行責任者〉大石 哲史 〈電話番号〉06-6349-9120
 〈編集長〉松尾 信 〈ファックス〉06-6349-9121
 〈発行所〉〒566-0045 摂津市南別府町 8-40
 (株)カトー精工内
<http://www.kansai-shiwasukai.club/>



結論を出すことの難しさ

副会長 野中 千尋 (大学21回)

この原稿の依頼を受けた時、この時期だったら、絶対「東京2020オリンピック・パラリンピック」についてだと思っていたのですが、結果として少し異なった内容になってしまいました。「東京2020オリンピック・パラリンピック」に関し、選手の頑張りによるメダル獲得数等のことではなく、開催に至るまでの経緯(混乱?)について、感じたことを述べたいと思います。

開催に至るまでは、意見百出でしたが「東京2020オリンピック・パラリンピック」が無事に終わりました。開催までの経緯を思うと、テレビ観戦していても複雑な気持ちになりました。開催に当っては、ひょっとしたら、最初から「開催ありき」だったのかもしれませんが、「開催」「中止」「有観客」「無観客」等、かまびすしく意見が飛びかいました。何かと問題もあり、トラブルも発生しましたが、無事終了して良かったと思います。

開催国としても、最低限の責任は果たせたのではないかと思います。特に、外国の選手を含め、多くの選手が開催に感謝していたのが、印象的でした。アスリートとしては、生活のすべてをオリンピックに懸け、すべてを犠牲にして四年間を過ごして来たのに、一年延期になり、それが又中止にでもなったら、当人の人生は狂ってしまったのではないのでしょうか。アスリートにとって、コンディションをピークに持って行くのがいかに難しいか、想像するだけで頭が下がります。今回のオリンピック、パラリンピックは、いろんな意味において、歴史に残るオリンピックの一つになるのではないかと思います。

さて、今回のオリンピック開催における議論を見て、改めて「結論を出すことの難しさ」を認識致しました。「開催ありき」だったかどうかは別にして、「開催」にしる、「中止」にしる、どちらの結論に至っても、大きな反対が起きるのは、明らかだったからです。我々の日常においても、程度の差はあれ、何かと

結論を出さなければならない状況がありますが、とてもその比ではなかったと思います。何しろ、世界が相手です。思惑、打算があつたかもしれません。一方、結論に対して非難することは、いたって簡単です。「建て前」や「こうあるべし」等を述べれば、もっともらしく聞こえるからです。ただ、反対や非難する以上は対案がないと説得力はないということも改めて感じました。今回も、「中止」にすれば、選手に対しては申し訳なく、可哀想かもしれませんが、一番楽な選択であったはずで、競技中のコロナ対策、天候、コンディションに対する懸念、外国人の来日の問題等、一切気にすることもなかったでしょう。こういう状況で「開催」の結論に至るまでの葛藤はいかばかりであったか、我々には想像もつきません。二者択一の結論を出すことの難しさと、感情的な反対論の無責任さを改めて感じました。開催するとなれば、いかにして無事に進めるかということが、一番の課題になります。「中止」になれば、この種の問題は一切発生しない訳です。開催に当っての進め方、運営の仕方等について、決定前の議論同様もっとやるべきではなかったかとも思いました。最近では、オリンピック自体、何かと問題を指摘されていますが、選手の活躍や、難民選手団、アフガニスタン選手の参加等、感動を覚えた人は世界的にも多かったと思います。今一度、オリンピック開催の原点に戻り、発展して行くことを願うばかりです。

今回のオリンピックを機に、何かと考えることがありましたが、結論を出すためには、大いに議論をすべきで、賛成、反対ともちゃんとした根拠を持って主張すべきであると、改めて感じました。我々も日常、つい感情的に判断したり、反論をしてしまうことがあります。常には冷静に物事をとらえ判断するように心掛けたいと痛感致しました。





趣味は人生を豊かにしてくれる

野仲 一敏 (大学4回)

昨年5月、永年住み慣れた大分から長男の住む奈良へ転居、生憎のコロナ禍で関西四極会総会には初参加出来ないままの同会仲間入りとなりました。この8月末で米寿を迎えたのを機に、懐かしかった学生時代とその後を回顧しながらその思い出のいくつかを綴り、自己紹介も兼ねて入会の挨拶に替えさせていただきます。

「趣味は人生を多様化し豊かにしてくれる」と言われるが、私の人生の大半はまさしくこの至言通り、楽しく有意義な80有余年であったと感謝している。

【学生時代】大学の部活動は音楽部と英語部。音楽部では高校時代から趣味を共にしてきたピアノ伴奏の名手清水君、バリトンの村上君にテナーの小生三人で男声コーラス部を創設。20名近くになった部員と共に、別府女子大や九州各大学との交流合唱祭に毎年参加しては大いに青春を謳歌した。

英語部では学園祭の英語劇と近県高校英語弁論大会が例年の主要行事。英弁大会でのウエルカムスピーチの原稿を英語の石田先生に推敲してもらい、なんとか責を果たしたこともよき思い出である。

【現役時代】地元銀行に入社後、35歳の時米国短期留学制度が初めて導入され即応募。全国各企業からの参加者20数名とカリフォルニア大学キャンパスでの共同生活、続いての大陸横断のバスツアーと各地ホームステ

イの経験は生涯忘れ得ぬ思い出となる。この体験はその後の人生観、価値観に大きな“変化”をもたらしてくれた。

40代の国際部門勤務時ではアジア主要外為市場の視察旅行にも参加。これらの知見も役立ち、退職後は地元私大の非常勤講師を10年近く勤めさせてもらう。

音楽関係では25歳頃より洋楽から邦楽に軸足を移し尺八にのめり込む。箏、三絃の師匠方と県内定期演奏会や全国各地開催の国民文化祭にも数回参加、随所の観光を楽しむ。

【退職後】現役時代から続けてきた英会話や英字新聞購読で得た語学知識を活かし、尺八を携えての海外演奏の機会にも恵まれた。オランダのライデン市での日蘭国交400周年フェスティバルや数年前のNYコロンビア大学院での「日本伝統芸能の研究授業」で箏、尺八の紹介演奏したのも貴重な体験となる。

以上、自分の人生を数々回想しつつ、これからはわが国のまほろば古都にて幾多の伝統文化を楽しみながら、のんびりと余生を過ごしたいものと願っています。



追 想 記

内山 博之 (大学12回)

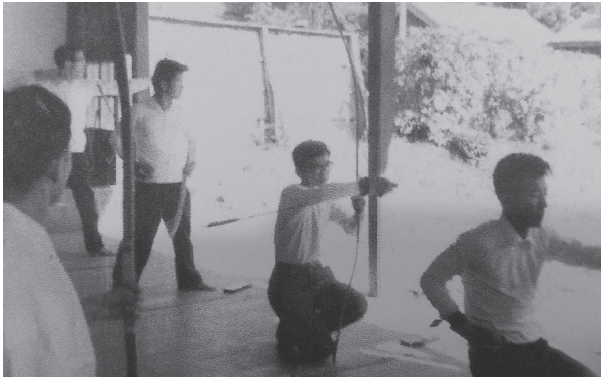
時は昭和16年神戸で生まれて太平洋戦争を迎えたが戦中の事は何の記憶もなく母の生地雲仙市に疎開。戦後 父の実家佐賀に転居。父に定職が無く木炭やアイスキャンデー売り、ポン菓子作りなどの苦労時代 我々が川遊び中にアイス積んだ自転車で行った父からもらったアイスキャンデーを食べた日の情景が浮かんでくる。

そんな時 一念発起の父と共に次の新天地(長崎県大村市)へ。県立ろう学校の教頭に就いた父は聖女ヘレン・ケラーの講演会に臨んだという(後に校長就任)。当時の父の俸給では8人家族の生活は厳しく母は糸編みの内職をやっていた時期もあった。

小学3年の夏 近くの池での水泳中 深みで溺れるところ 浮き輪の女子中学生に助けられたことがあった。その恩人は今いずこに？

中学時代 母と兄弟で近くの山へ炭俵を背中に担いで風呂焚きつけの松葉拾いに行った事もある。メガネを初めてかけた時に見た母の顔の肌や周囲の風景が一瞬で変わったような感激は忘れられない。中学2年のクラスで、ふざけて窓ガラスを割った5人の男子を担任の30代の女教師がビンタを食らわした衝撃は級長の私の責任感を改めて強めたことだった。今時ならどんなバッシングが・・・？

高校1年の夏(昭和32/7) 豪雨で雲仙市の母の実家が川岸の崩壊で流されたことで暫くは受難の従兄弟達にかけられる言葉もない悲劇を生んだ・・・普段はヒザほどの水位で遊んだ川の変貌の恐ろしさ！また同じ豪雨は懐かしき大村市の駅前商店街の1階天井近くまで水没する災害でクラスの女生徒が死亡する悲劇も生じ、自衛隊と共に復旧作業に携わった衝撃の夏休みだった。



弓道練習風景 武徳殿(大分)にて

大学での思い出は まさかの弓道個人優勝(昭和37/10)

西日本大会(高校・大学・一般の有段者含む80人出場)での中上位に残った6人が的の中心を狙う決戦で有段者5人が次々と脱落。的を蹴った私が優勝という快挙に大学仲間も歓喜! 冷静に新聞社の取材に応じた姿が蘇える。その大会までの練習中でも矢を支える左手に血が滲みながらも連続的中(12射10中とか)の好調ぶりで決してフロックではなかった。

大阪道修町の会社に就職後4年目に入社の脚線美人女性と交際・・・結婚の喜びも半年後 暗転(昭和47/2)。私が東京支店での勤務中 **新妻の交通事故受難!** 2台の車の衝突でバス停に突っ込んできて轢かれて重傷・・・股関節脱臼、背中中の皮膚裂傷等で大阪転院で11カ月の長期入院。涙々の肉親や友人達の激励にこたえて車いすの身にならず何とか生還できたことは二人の新たな門出の喜びだった。

そして その翌年には苦闘に耐えた神のごほうびの娘の誕生! その子が高校2年の時 **全国高校生作詞作曲コンクール**で4,400人中 **準優勝!**その勢いで 米国の**パークリー音楽院入学**(同じジャズピアノ部門に**上原ひろみ**もいて、その演奏ぶりに大勢の学生が集まった由)。娘は卒業後NYへ。我々夫婦も3回渡米・・・同音楽院を訪問したり娘のライブにも臨んだ。ポスト

ンではハーヴァード大のキャンパスにも立ち寄ったりNYでの思い出は連綿と浮かぶが、限られた字数では表現できないのが残念。娘はNY、日本各地でライブ演奏するも既に引退(NY在住)。

我々夫婦は 娘が知り合いになったジャズのサクソ奏者ブランフォード・マルサリスの来日時 大阪梅田で親しく会食の機会を得たこともある。



娘 作詞作曲準V授賞式

最後に 衝撃の**阪神淡路大震災**は 命の危機に迫る恐怖の体験(平成7年1月)。

激震で目覚めた時の家の激しいきしみに 如何ともし難く布団をかぶって恐怖の時の過ぎるのを待った。

家族3人無事なれば家の中の散乱、屋根や壁の破損や15才の愛犬と25cmにも育った金魚の死などは 神戸の惨状や芦屋の姉の自宅の焼失とか隣家や近所のアパートの崩落犠牲の悲惨さとの比に非ず。1階が崩落した隣家の主婦を救出後 戸板に乗せて その息子らと市民病院に運んだり 小学校の体育館での雑魚寝、会社寮での避難2か月余を経て多くの人の支えに感謝しつつ 三階建てで妻が約30年携わった原色ドライフラワー教室併設の西宮北口の建替えた家と別れて

神戸三宮(29Fマンション)に終の棲家を得たが 腰痛で歩行苦行の身となりながら今日までこれた今 苦勞して60代(母)、70代(父)で旅立った両親への感謝を新たに八十路をゆっくり歩んで参ります。



秀吉ゆかりの太閤道を歩く

鍵本 明 (大学17回)

今回は、秀吉が明智光秀討伐の山崎の合戦に挑んだ西国街道ではなく、一般に太閤道と呼ばれる山越えコースを歩いてきました。

JR高槻駅から市バスに乗車、磐手橋バス停で下車して、若山を登り若山神社に至るルートになります。先ずは金龍寺跡を目指します。登り口に、千観内供が安満寺を再建して金龍寺と改称したとの案内板が建っています。又本堂跡までの参道に極楽往生を願う十三仏信仰に基づき13基の丁石があるとも記されています。一丁石は、すぐ側にあり不動明王の梵字と金龍寺の住職が丁石を建てた事が記されています。



登り口 標識柱

登り初めて直ぐに赤鳥居があり、三好大明神が祀られています。小さな滝を行場として修験道の水垢離が行われていた場所のようです。更に進むと十二丁石辺りの道の傍らに「座禅石」の表示がある大きな岩に出会います。深い林の中、この石の上で無我の境地に達するように修業したのでしょうか。また千観がその池から金色の龍が天空に上るのを見たという邂逅池の南側に最後の十三丁石が建っています。

第一目標に到着です。金龍寺は、江戸時代の旅行ガイドブック「摂津名所図会」にも掲載された古刹で、本堂・方丈・開山堂・経蔵などが威容を誇ったとされ、「金龍寺山の松茸狩」でも有名ですが、現在は焼失して何も残っていません。しかし千観の墓碑は裏山にしっかりと残っています。

金龍寺跡を後にして尾根道の太閤道を上ります。しばらくなだらかな道を歩くと若山三等三角点です。標高は315.23mなので、初心者でも十分楽しめる山道です。

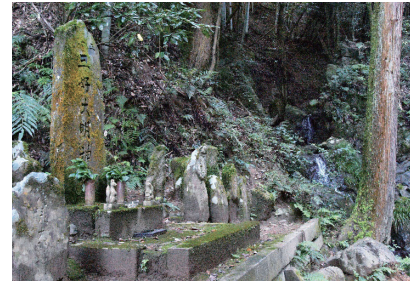
次に着いた第二展望台からは桂川、宇治川、木津川の三川合流が眼下に眺望され雄大な景色が展開します。ここは格好のカメラスポットで写真を何枚も撮りました。コンビニ弁当でも、対岸の男山等の景色の味つけで美味しくなりました。

昼一番は、左川久保3.5km、右若山神社1.5km、手前金龍寺1.9kmと書かれた「四ツ辻」の道標を目指します。到着すると新大阪GCのコースが目の前でした。防護ネットが張ってあって危険はありませんが、ロストボールが数個落ちていました。

ゴルフ場沿いに歩きしばらくすると、樹齢200年を越すブライジ林が現れ、この林を見ながらゆっくりと若山神社への急勾配を下って行くことになります。山崎合戦に向かう足軽たちは、重い具足を付けて、大変な苦勞をしてこの坂を下りたことでしょう。

私も事前に、高槻側と比べ倍以上の等高線が密なのは知っていましたが、「膝が笑う」状態に陥りました。何とか最終地点の素戔鳴尊を祀っている若山神社に着き、約3時間のウォーキングを無事に終えることができました。

蛇足ですが、宇津木英輔氏によれば、若山神社と阪急電車が共同でこのコースを宣伝する事があって、思い付きで「太閤道」と命名したとのことでした。



三好大明神と行場



座禅石



金龍寺跡標識柱



金龍寺跡



當山開祖千観尊者塔



若山三角点



太閤道標識柱



三川合流～桂川、宇治川、木津川



三川合流と右手、男山



四辻標識柱



回想「三つの誓い」

大谷 眞二 (大学 19回)

三指

皆様の「三つの誓い」は何でしょうか。「飲まない、打たない、買わない」でしょうか。それとも、・・・？

私の場合、「神(仏)と国とに誠を尽くし、掟を守ります。」「いつも他の人を助けます。」「体を強くし、心を健やかに徳を養います。」

「一体何のこっちゃ～！」とお思いでしょうか、ボーイスカウト(以下BS)活動の基本理念です。

私がBS活動に係わりを持つようになったのは、長男が小2の時です。今から28年前(私の年齢は当時46歳)です。BS入隊の条件が「私も指導者として参加すること」でした。リクルート然とした制服・制帽(当時はベレー帽)に身を包み、篝火の下で三つの誓いをたてて私のBS活動がスタートしました。

少年野球やサッカーの指導者であれば、技術的裏付けが多分に必要とされますが、私のBS活動に関するスキルは全くなく(とと思っていましたが)、スカウトを指導するどころではありませんでした。

その後、様々な研修で基礎的スキルの習得に努めました。思えば私がガキの頃に日常やっていたことが多分にありました。中2の夏休みに先生を引っ張り込んで仲間7～8人と2泊3日の野宿キャンプをしたことなど、今から思えば素地があったのかとも思いません。

基礎研修を終えると次の段階はウッドバッジ研修となります。これは、一班4～5名の複数班編成で3泊4日のテント生活での極めてハードな研修です。これを終了すると指導者としては一人前と見做されます。

私が所属している団は和歌山連盟橋本第2団で、現隊はビーバー隊(幼稚園)・カブ隊(小学生)・ボーイ隊(中学生)・ベンチャー隊(高校生)・ローバー隊(大学

生)の5隊で団構成員は約100名を数え県下有数の団であります。

BS活動では第三者から見れば、ロープワーク・地図コン・パトローリング等スキル面のみを認識されると思いますが、スキルはあくまで手段であります。目的は見識ある社会人を育てる為に、スカウト自身で計画・立案し、行動できるようスカウト活動を通して訓練する事にあります。その為に、進歩・進級制度があり、これが他の団体には無い特徴です。



BS活動をやっている最大の喜びは、「スカウトの成長に何がしかの係わりを持てる事」です(我が子に対してとは違うもの)。スカウト最高の栄誉章は「富士章」で、我が橋本第2団からは過去3名(10年に1回のペース)の富士スカウトを輩出しています。富士章受章者は天皇陛下並びに総理大臣との昼食会に招待されますが、受章の祭は我がことのように嬉しかったことを覚えています。

私には3人の男の子がおり現在は夫々家庭を持っていますが、子供3人と妻の一家5名と一緒にスカウト活動をして参りました。一家での活動参加は珍しいことではなく、我が団には私が知っている限り5家族があります。これもBS活動が人を引き付ける魅力的なものであることを示しています。

私は現隊からは10年以上も前に離れ、現在は団の裏方として係わって来ていますが、団、OBとの絆は強く、私の人生の大事なものの一つとなっています。

皆様、お子さん、お孫さんを是非お近くの隊・団に入隊させてみたら如何でしょうか？

弥栄



定年後、大学院で学ぶ

藤野 敬三 (大学 22回)

1、なぜ？

2010年5月、定年を迎えた。仕事は十分にした。これからの人生は「やり残したことにチャレンジしよう」と決意した。第一の目標は、「大学院で学ぶこと」に決めた。会社勤めで消耗した「パワーの再充填」を図るのが目的であった。とにかく大学院を体験したかった。専攻はもちろん経済学である。

2、その具体的な方法は？

通学ができ授業料も安い学校を選んだ。神戸大学大学院経済学科の専修・社会人コースがぴったりだった。大学院の入試要項を取り寄せると、筆記試験の「小論文」と「口述試験」がある。小論文は「経済知識」の問題、口



述試験は研究計画書をA4 2枚にまとめ、それに対する口述試験である。合格の可能性はありそうである。毎週土曜日に3~4教科の講義を2年間受けて、1教科2単位、合計20単位以上を取得し、修士論文にパスすれば修士号が取得できる。早速準備に取り掛かった。2月に試験があり16名が合格した。その中に私の受験番号もあった。

3、1年目の講義の内容は？

4月から前期の講義が始まった。「地域経済統計論、基礎ミクロ経済学、基礎統計分析、基礎演習」の4科目を受講した。中国、韓国などの留学生も受講、年齢層は幅広い。

兵庫県庁の統計専門の先生から「地域経済論」を学び、統計分析のいろはを学ぶことができた。経済学はミクロ経済学、マクロ経済学が主流となっていた。「ミクロ経済学」はグラフを使った基礎理論が面白かった。「基礎統計分析」ではデータ分析のベースとなる統計学を習ったが、I Macを使った演習に戸惑った。「基礎演習」はノーベル経済学賞のスティグリッツの教科書を使った。かくして半年が過ぎ、7月に前期試験、4科目中3科目の単位を取得した。

後期は、学生生活にも慣れ、土曜日以外は一般の学生と同じ授業を受けた。「アジア経済」は新興国の経済を、「経済史」は蘭、英、米国の経済発展について、「中国経済」は、中国の労働市場、企業改革、財政・金融改革を、「現代技術論」は現代企業のイノベーションを、「現代経済学」は日銀の役割を、白川方明前総裁の「現代の金融政策」の本で学んだ。「基礎マクロ経済学」はマンキューの本を、「経済政策」はアダムスミス、マルクス、ケインズ、新自由主義の経済政策を学んだ。ここで初めてマルクスの名が出てきた。後期試験は8科目全ての単位を取得した。



4、2年目の講義内容は？

興味を引いた講義だけを紹介すると、「日本経済論」は社会保障の分析、「日本経済特論」は外部の著名講師が講義、「日本経済史」は日本経済の発展過程、特に阿波の藍についての講義は興味深かった。「欧州統合史」はEUが出来ていくまでの過程、「現代経済学」は19世紀以降の経済理論史、この試験にはびっくりした。問題文全てが英語であった。演習の時間は木曜日の19時から20時30分までゼミナール形式で行われた。各人がテーマ設定、それに基づいて発表、討議。博士課程にいた韓国の留学生のきつい日本語を我慢しながら、彼から教えを受けた。そしてどうにか修士論文の作成にこぎつけた。

5、修士論文の内容は？

論文タイトルは「家庭用エアコン市場における企業間競争の実証的分析」、過去10年間のデータを用い、「STATAソフト」で分析した。エアコン市場では「最初に新しい機能を搭載した企業が有利である」ことを実証的に分析した。

6、同期生とのつながりは？

大学院で学んだこの2年間は得難い経験をした。素晴らしい同期生に出会えたことである。16名の同期生のうち60才以上が3名、それ以外は30~50代の現役の会社員、公務員、教員である。皆それぞれ向学心に燃えている。授業を終えて、六甲台の校舎から歩いて帰る道では話に花が咲いた。時には「うりぼー（猪の子）」にであったりした。眼下に見える神戸の街には百万ドルの夜景が広がり、青春時代の熱い思いが彷彿とするような気分を味わった。卒業した今でも、同期生7名が3カ月に1回集まり同期会を開いている。その時々最新の政治、経済、金融、株式、学校、家族などの話題で賑やかである。

7、学びの真の価値とは？

少しの時間と投資で、今までとは全く異質の世界が体験できる。最先端の経済学の知見を学ぶことができる。こんな素晴らしいことはない。さらに人との出会いもある。懐かしい学生時代も再び体験できる。何より一番は家族の私を見る目が変わったことだ。妻は私を「いい加減な人」と見ていた。それが「なかなかやるね」と応援してくれるようになった。大学院で学ぶ価値は計り知れない。





タイ・バンコクへのゴルフ旅 福田 誠 (大学 23 回)

同期の中で「タイ・バンコク/ゴルフ同期会」を有志6名で催すことになり、2018年11月25日、日本を出発してバンコクに向かった。



「アユタヤ遺跡」前にて



象に乗っての遺跡巡り

美しいフェアウェイグリーンと青い空、気温は30度と高いが湿度は低く、コースに苦戦しながらも皆で楽しくプレーできた。

ゴルフの合間にはサムラン夫人、娘さんも同行してくださり、「遺跡巡り」(アユタヤ遺跡、日本人村など)を行った。丁寧な説明と会話を楽しみながら、途中には象に乗っての遺跡見学もあり、非常に楽しい観光見学であった。

また夫人の案内でタイ料理を味わった。タイ料理は、ハーブやスパイスをふんだんに使っており、甘味、辛味、酸味、塩味のバランスがよく、現地ビールの「SINGHA」(シンハー)ともども我々皆、大変魅了された。

11月25日～29日の5日間、同期会のメンバーとバンコクでの「ゴルフ」「遺跡巡り」「タイ料理」を十分に楽しみ帰国の途についた。「コロナ禍」で次の同期会の開催が難しくなっているが、サムラン君を迎えての日本での同期会が待ち遠しい。

大学時代は「硬式テニス部」に所属し、テニスコートで共に汗を流した同期とは、昭和50年(1975年)卒業後、別府・湯布院・大分等で同期会を行ってきた。我々のテニス部同期にはタイからの留学生サムラン・チュウドアングン君がいて、彼は4年間共に学んだ後さらに一橋大学大学院で勉学に励み、卒業後は母国に帰り国連関連の仕事に従事し、また「タイ・日本留学生協会」の会長職も務め、数多くの日本人留学生の世話をしてきた。

今回の同期会は一度サムラン君を訪ねてゴルフをしようとの話が出て開催されることになった。タイまでは6時間のフライト、時差が2時間、バンコクは近代的な国際都市として有名である。

タイにはバンコク近郊を中心に270ヶ所以上のゴルフコースがある。その中でサムラン君のメンバーコース「THANYA Golf Club」(ドンムアン国際空港より12Kmにあるウォーターハザードに絡む変化に富んだコース)と「PANYA INDRA Golf Club」(バンコクの北に位置しドッグレッグ、アイランドグリーンが多く、戦略性のあるコース)でプレーした。両コースとも距離があり、ウォーターハザード、バンカーが多く、ティーショットはのびのびと打てるが、アイアンショットの確実性が要求される難コースであった。2日間とも快晴にめぐまれ、



PANYA INDRA Golf Club



「タイビール」で乾杯



私の寅さん 小俣 秀記 (大学 27 回)

大学時代、大分市内の府内五番街の映画館(オールナイト3本立て)で出会って以来40数年。「男はつらいよ」(シリーズ49作)は、私の心のふるさと。人の喜怒哀楽が凝縮され、人間らしさとは何なのかを教えてください。何が私を惹きつけるのか。

ひとつは、言うまでもなくマドンナたちの匂いの美しさ。浅丘ルリ子・吉永小百合・大原麗子・松坂慶子・

竹下景子・後藤久美子。古くは、池内淳子・八千草薫もとても美しい。

ふたつ目は、自分が育った昭和の時代に出会えること。三輪トラック・ボンネットバス・縁日の人出・街角の公衆電話。「あ～、あったあった」と何度もうなづく。

三つ目の魅力は、旅と地方の風景のすばらしさ。各駅停車の汽車の車窓・蒸気機関車の汽笛、路線バスの

車掌や渡し船の船頭。

丹後・伊根の舟屋や、播州・龍野の町並み、伊予・大洲城の石垣など、映画を観たあとロケ地を訪れた名所も多い。

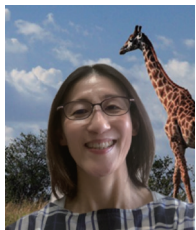
四つ目は、脇を固める個性的な男優の存在。御前様の笠智衆を代表に、志村喬・森重久彌・嵐寛寿郎・三木のり平・三船敏郎。往年の名優たちの渋い演技は実に格好いい。

そして最後は、何といても渥美清の圧倒的な演技力と存在感。

稀代の喜劇俳優は、50歳を過ぎてからは殆どこのシリーズだけにしか出演せず、「寅さん」であり続けた。

平成8年に68歳でこの世を去ってから今年で25年。私もその年齢に近づいてきた。

ところで、全国津々浦々を巡ったシリーズのロケ地で、登場回数が多い都道府県はどこかご存じだろうか。



オンライン旅行のススメ

小林以久恵 (大学40回)

昨年、突如世界を襲ったコロナ禍。人々の往来が制限され、街や観光地で多くの外国人観光客が賑わう光景を見なくなって久しい。私たち日本人も自粛生活がスタンダードとなり、大手を振って旅行することも憚られ、旅行好きの人間にとってはとても息苦しい日々が続いている。かく言う私も旅行が好きで、以前のように自由に旅行できる日々が早く戻って欲しいと願っている。

一方で、自粛生活が続く中で思わぬ副産物も得られたように思う。世の中のオンライン化の急速な普及は、革命的な進化だと私は感じている。

特に仕事上のそれは顕著で、会議や商談、研修受講など、気付けばほとんどの事がオンライン上で事足りている。今まで当り前に移動に費やしていた膨大な時間は何だったのか？と感じてしまうほどの大きな変化だったように思う。

そして、オンライン化は様々な分野で広がりを見せ、旅行業界でも今では多くの「オンライン」企画が溢れるようになってきた。

オンラインの旅行って？と思われる方もあるだろう。そう、私も旅行は五感を使って感じるリアルが醍醐味だし、道中も旅の楽しみの一つだと考えているところもあり、オンラインツアーには全く興味は持っていなかった。たまたま私の所属する団体でオンラインツアー企画があり、半ば義務的に参加したのが体験の

1位の北海道、2位の東京都は順当だが、3位は何と我が大分県。その回数は17回にも及ぶ。自ら、私の選ぶ寅さんシリーズのベスト3には、沢田研二・田中裕子が、湯平温泉で出会い、杵築の坂道で再会するシリーズ第30作が当然ランクインする。

別府湾を走るホーバークラフト(2009年廃止)は、この第30作や、西田敏行の「釣りバカ日誌19ようこそ！鈴木建設御一行様」の映画の中で今でも見ることが出来る。

一昨年12月、シリーズ50周年で出された「4Kデジタル修復版」ブルーレイ50枚セットを奮発して購入し、自室の本棚に並べている。

飽きずに何度も見返すDVDを観るたびに、「いつも同じ場面で笑っている」と、横で家内に呆れられつつ、これで私の老後は無聊を託つ心配がなくなった。

きっかけである。

私が参加したツアーはケニアのナイロビサファリツアーというもの、現地のガイドさんがライブでサファリパークを車で巡りながら出会った動物の紹介を

してくれるというものだった。サファリパークは広大だが、ガイドさんはさすがプロ。どんな遠くで分かりにくい場所にも、あっという間に動物達を見つけてしまう。そして高感度のカメラで遠くの動物の動きまでしっかりとらえ、その動物についての特徴やエピソードなども話に織り交ぜるから非常に分かりやすい。もし、私が現地に双眼鏡を持参したとしても、上手く見つけられないだろうし、運よく見つけたとしても「いた」というだけで済んでしまうだろう。正直「楽しい！」という感想だった。

もちろん、その場の空気や温度感、匂い、音など物足りない部分がないわけではないが、それでも、得られた満足度は不足分を十分に補えるものだった。ガイドブックだけでは分からない現地の情報もたくさん盛り込まれているので、実際の旅行の下見として活用するのもオススメしたい。気になった方はぜひ、一度お試しあれ。





第43回関西四極会懇親ゴルフ会



令和3年7月30日
於・関西クラシックG C

第 43 回懇親ゴルフ会

<開催日> 令和3年7月30日(金) <天 候> 快晴

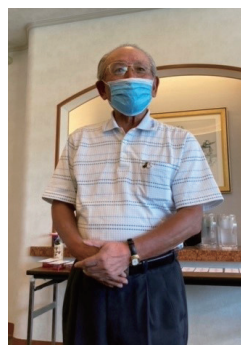
<場 所> 関西クラシックG C 湯谷→清水コース

<参加者> 16名(4組)

加藤 皓以(大11回)、安部 亮一(大11回)、小川清一郎(大15回)、宇都宮 護(大17回)、鍵本 明(大17回)、
長谷川浩二(大17回)、坂本 直(大17回)、野中 千尋(大21回)、
大石 哲史(大22回)、河野 博文(大22回)、宮本 勝一(大23回)、
水野 豊(大26回)、小俣 秀記(大27回)、後藤 寛(大27回)、
児玉 幸寿(大28回)、田崎 隆徳(大32回)

<成 績>

順 位	お名前	GROSS	HDCP	NET
優 勝	安部 亮一	87	12.0	75.0
2 位	宮本 勝一	105	30.0	75.0
3 位	河野 博文	91	15.6	75.4
ベストグロ	安部 亮一	87		



今回は東京オリンピックが開催中の7月30日に行いました。

新型コロナ感染者が拡大する中でしたが、大半の方が2回のワクチン接種済でした。

当日は大変な猛暑でしたが、各自水分、塩分を補給しながら全員無事にホールアウトしました。

結果は大11回の安部さんがベストグロで優勝、2位はH Dに恵まれた大23回の宮本さん、加藤ゴルフ部会長も4位と好成績でした。

又今回大17回の坂本さんから鳥取メロンの寄付が有り7位入賞の鍵本さんが見事獲得されました。

レストランでの昼食も、コンパルムでの表彰式も4人テーブルでアクリル板の完全なパーティションでの感染対策を実施致しました。

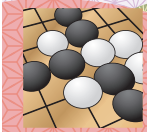
大石会長より、来春の総会は感染対策に万全を期し是非開催したいとの挨拶があり閉会しました。

尚、本年2回目の第44回懇親ゴルフ会は、同場所で以下の通り開催されました。

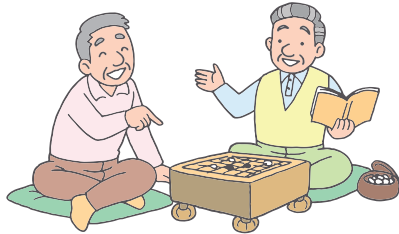
開催日：令和3年11月10日(水)、参加人数：10名

優 勝：長谷川浩二(大17回、ベストグロ85)、2位：水野 豊(大26回)、3位：野中 千尋(大21回)

囲碁部活動報告



幹事 小川清一郎
(大学 15 回)



今年は関西四極会囲碁部の活動(新春、夏季、秋季大会)を全て中止いたしました。また長崎大(瓊林会)との交流戦も協議の上中止といたしました。

昨年3月に国内での感染が発表されて以来covid19は変異を続け、1年半に亘って猛威を振るい、国の緊急事態宣言発出は第5波に及びました。

ここにきてワクチン接種の効果か?日本では漸く沈静の兆しが見え始めましたが、海外では今もなお、幼児・子供や若年層への感染は続いており、まだまだ予断を許さない状況です。

2022年には、会員諸兄と1日も早く対局できる日が到来すること祈っています。

四極の 風の会報告

幹事 利光征四郎
(大学 11 回)

今年はコロナの影響により、全く活動ができませんでした。昨年と同様な状況でしたので、丸2年間無活動となりました。現状、様子見状態ですが、コロナ感染状況は一時に比べれば随分と落ち着いており、あと少しの監視期間が必要ではないかと考えています。

又、年末がくればある程度の見通しがつくのではないかと予想しております。今回は、行動計画の準備にと思って資料を調べる過程で興味があったことについて纏めてみました。以下について報告致します。

(題目:「水都大阪と堀川の盛衰」をご参照ください)

水都大阪と堀川の盛衰

大阪は古くより「水の都」と云われてきたが、今は多くの堀川が埋められて水都の風情も変わっている。堀川の変遷を振り返りながら江戸期大阪の繁栄の跡を辿る。

1. 堀川一覧 — 開削年順 —

土佐堀川	豊臣期(注 後記参照)
東横堀川	天正13年(1585年)
天満堀川	慶長3年(1598年)
西横堀川	慶長5年(1600年)
阿波座堀川	慶長5年(1600年)
道頓堀川	元和元年(1615年)
京町堀川	元和3年(1617年)
江戸堀川	元和3年(1617年)
長堀川	元和8年(1622年)
海部堀川	寛永元年(1624年)
立売堀川	寛永3年(1626年)
薩摩堀川	寛永7年(1630年)
堀江川	元禄11年(1698年)



以上、大阪の堀川として13の流れをあげた。その中で土佐堀川は開削時期が不祥なのと、他の堀川とは少し開削状況が異なるので(注)を付けたがその理由はつぎによる。

土佐堀川は、豊臣政権時に大川の水運向上と水の氾濫対策のため土佐・長曾我部氏に命じて天満八軒浜の下流

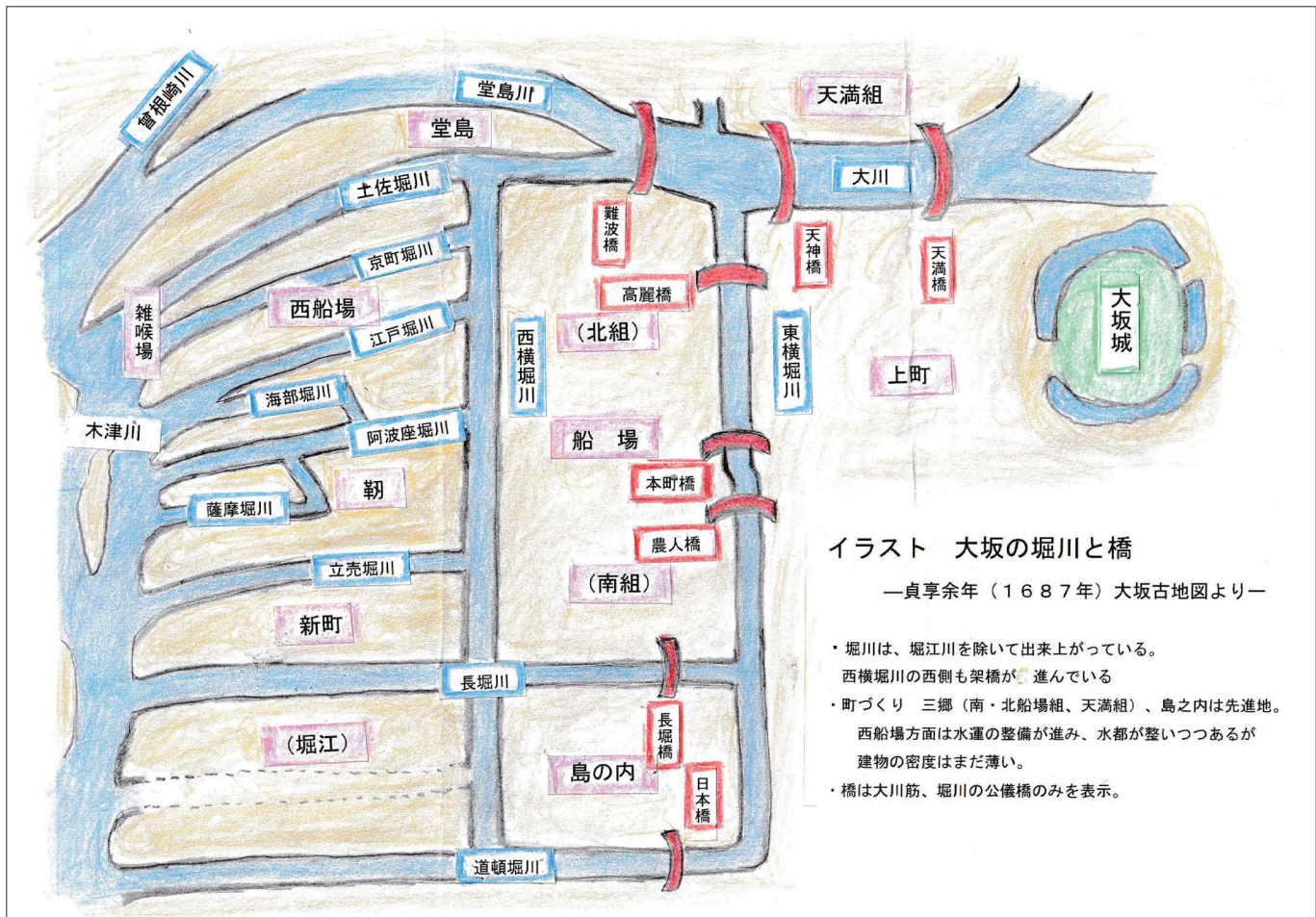


イラスト 大坂の堀川と橋
—貞享余年(1687年)大坂古地図より—

- 堀川は、堀江川を除いて出来上がっている。
- 西横堀川の西側も架橋が、進んでいる
- 町づくり 三郷(南・北船場組、天満組)、島之内は先進地。
西船場方面は水運の整備が進み、水都が整いつつあるが
建物の密度はまだ薄い。
- 橋は大川筋、堀川の公儀橋のみを表示。

地点から大川左岸寄りを掘削、大川を分流して新たに堀を作ったもの。その後は本流を堂島川、新堀川を土佐堀川、両川の間に来た島を中之島と呼ぶ。

これに対して、例えば東横堀川は、豊臣秀吉が大坂城築城に際して西方の防御目的(堀川を大坂城西惣構堀とする)として堀川開削を意図したことが端緒となっている。それが実現した後に西横堀川が同じ目的で開削されている。西横堀川以後各堀川が開削されるが、道頓堀川は既設の東・西横堀川の南端が堀留になって水が汚れるため両堀川を結んで水の浄化と水運向上を目的としていた。一般的には、堀川は水運の利便を図って物流を円滑にし経済の発展を促すために開削されている。

土佐堀川、東・西横堀川開削により水都大坂の基礎は、ほぼ、この時代に定まった感があり、豊臣秀吉が広げた網の目は今も綻びていないようだ。

2. 堀川と町づくり

(1)蔵屋敷の存在

豊臣政権下、政治の中心であった大坂地区には有力商人が多く、これらと取引する諸大名は蔵屋敷を持ち始めていた。関ヶ原戦役後、江戸幕府成立で政治の中心は江戸に移ったものの商業の中心はそのまま大坂に留まったため、蔵屋敷は存続しその後も各藩の蔵屋敷が大坂に集中するようになった。蔵屋敷は物産の通運面から新しく出来た土佐堀川南岸や中之島地区に立地した。蔵屋敷の主たる役目は年貢米や特産物の管理・換金で次第にこれを商人に委託するようになり、流通管理を担当する蔵元、販売代金の出納を担当する掛屋の多くは両替商で蔵屋敷に近い土佐堀川沿いに商人町を作った(北船場組(組については後述)の北浜、今橋、高麗橋地区)。

(2)市場の誕生

更に、堀川沿いに各地の物産を扱う市場や藩の特産物の集積地が町の形成を促進した。

市場として	
天満青物市	大川沿い
雑喉場(ざこば)魚市場	京町堀川
堂島米市場	土佐堀川
永代浜干魚市(靱)	海部堀川

(注 各市場共にこの場所で初めから存在したわけではなく豊臣、徳川政権下で政治的な事情もあって
転々と場所を変え、市場の名も変わっている。寛永～元禄期までにほぼ前頁の場所に落ち着いている。)

藩の特産品市場として

長堀木材市(土佐藩) 西長堀川

同鯉座市(土佐藩) 西長堀川

その他産業関連として

銅吹所(中心は住友家) 西長堀川

市場の拡大で各地から米、海産物(特に干魚、鯉節)、青物などの産物が現大阪湾から流通インフラと
しての川と堀川を經由して市場に集まり、市場を通じて消費地に送り出されて行く、この経済活動が世
にいう「大坂は天下の台所」の言葉を生む。

(3)新地・歓楽地の登場

商業の発展で街づくりが進み、役人、大名家中、商人など各層が利用する新地が堀川沿いに作られ、商
用・慰労に利用された。新地は文字通り新しく出来た土地の意で、堀川掘削で出来た造成地がそれに当てら
れ、立地は町から適当な距離を置いて作られている。堂島、曾根崎、島之内、堀江などがそれで何れも堀川
沿いにあったが、最後に作られた堀江川は新地を作るために開削された。

歓楽地も堀川沿いにある。芝居小屋は道頓堀川沿いに並び、直ぐ北側は今でいう「ミナミ」の歓楽地で島の
内に属し商人の町船場からほどほどの近さにある。新地にしろ、歓楽地にしろ人が集まる場所で賑わう町に
なっていく、曲折を経て今でも一部は大阪のキモとして残っている。

3. 水都大坂の風景

(1)組分け－大坂三郷ほか－

元禄期の地図では大坂三郷の表示がある。(天満組、船場北組、船場南組に組分け)

- ・天満組－大川の北岸で商業地も多い
- ・船場北組、船場南組－大川の南で土佐堀川、東横堀川、長堀川、西横堀川に囲まれたエリアで商都大坂の
中心

三郷の周辺地

- ・西船場－西長堀川の西、木津川との間の北半分のエリア。水運を使って各地から産物が集まる水都・大坂
の中心地を含む
- ・島之内－東横堀川、道頓堀川、西横堀川、長堀川に囲まれたエリア。川に囲まれている土地を島と呼ぶと
ころから島之内と呼ぶ。芝居小屋が道頓堀川南岸に建ち並び、北岸は歓楽地。

(2)水都の橋－町橋－

堀川に架かる橋の管理の概要は次の通り。幕府直轄地の公共インフラである橋は原則、幕府が維持管理す
る。江戸や京都においては圧倒的に公儀橋(幕府が管理する橋)の割合が高いが、大坂では、公儀橋12に対し
町橋(町方が管理する橋)は元禄期で136と圧倒的に町橋比率が高く、幕末には200近くに増えたとある(天保
年間に発行された橋の番付表には全橋数205とある－公儀橋を含む－)。

大坂の公儀橋は12でその内訳は次の通り。

大川筋	天満橋	天神橋	難波橋
東横堀川	高麗橋	本町橋	農人橋
道頓堀川	日本橋		
長堀川	長堀橋		
その他	京橋	鳴野橋	野田橋 備前島橋

公儀橋は幕府にとって重要な橋に限定されている。町方にとって町橋の修理費用は大きかったにも拘わら
ず幕府の要求に従ったのは大阪商人の誇りの発露と見たいが、商売の利も大きかったに違いない。そのあた
りの事情を見越して町方に負担を強いる幕府もしたたかでの構図は幕末まで続いたに違いない。

4. 堀川の盛衰

(1)鞠の繁栄

元禄11年堀江川完成で大坂市中の堀川は開削を終り生活、経済活動と密着したインフラとして活動期を迎える。
商業地として隆盛を迎える土佐堀川沿いの両替商ら豪商の町や船場の商人町は堀川に囲まれているが、堀
川とやや距離を置いて東西に伸びた通りで業種ごとの商人町を形成。長堀川の北側エリアは開削した近江商
人などが木津川経由で物資や物産を荷揚げした。長堀川南側は島之内に属しこの辺りは商人が多い町。道頓

堀川は島之内の南側。堀川の南岸に芝居小屋が並び、北側一帯は繁華な歓楽街。

京町堀川、江戸堀川は蔵屋敷と商人町、京町堀川の河口には鮮魚市場。

阿波座堀川と支流の海部堀川・薩摩堀川は各地から海産物が荷揚げされ永代浜には干魚市場が開かれた。市場の辺りは鞆(うつぼ)と呼ばれ水都大坂のシンボリック的存在。

南北に流れる東・西横堀川は、東西に流れる他の堀川に串刺しにされる形で繋がりすべての堀川を結ぶ役目を果たしながら、大川筋から水を取り込み他の堀川に供給することで水質維持、また、客船便で人を市内へ運んだ。

各堀川が開削されて昭和の時代まで30年、大坂の経済活動は堀川と繋がっていた。水都大坂を象徴する堀川と橋の多くは街の西に多く、堀川と結びついた経済活動の中心地である西船場、鞆界隈の繁栄が水都を支えていたのである。

(2)堀川の衰え

300年の間堀川の維持状況は分からないが橋は20年ごとの大改修で通行の安全が図られていた。堀川にとっての最大の問題はヘドロの堆積と、それによる水質の悪化。

水質改善用に作られ現存する施設が堂島川と土佐堀川に残っている(堂島川・水晶橋、土佐堀川・錦橋)。何れも昭和初期に可動堰として竣工した。機能は次の通り。

①川の水を堰き止めて東・西横堀川に導き、あわ

せて長堀川、道頓堀川、江戸堀川にも可動堰を設けて水量調節して水の流れを清め汚れを洗い流す。後に京町堀にも堰を設け計6カ所の稼働で平時の4倍の流速を達成、水質の改善が見られた。堰は月に2回、3日間連続で夜間に堰き止め朝には開放した。戦後は一時休止、昭和41年に運転再開。その後昭和57年に堂島川、土佐堀川の可動堰は廃止され人道橋に変更、堰の機能は無くなった。

②戦後復興が進まず経済活動の停滞から堀川の水運利用が減少したことで水質の悪化が進み、更に大川に流れ込む寝屋川の水質汚染が進み、東横堀川からの取水に支障が出て昭和53年同堀川に水門を設置したが、堀川の水質改善は難しくなった。

(3)堀川の埋立て

埋立ての時期

西横堀川	昭和46年12月	立売堀川	昭和31年1月
江戸堀川	同 30年3月	長堀川(西)	同 48年6月
京町堀川	同 32年9月	長堀川(東)	同 37年
海部堀川	同 26年6月	堀江川	同 35年11月
阿波座堀川	同 32年9月	天満堀川	同 43年
薩摩堀川	同 26年6月		

戦後数年で一部の堀川から埋立てが始まっている。鞆周辺は戦災で街が焼け、戦後米軍に土地を接収された時期があって復興がままならなかったものと推察される。

昭和30年台になると町の中核堀川が無くなっている。モータリゼーションの波が起きて堀川を洗い流そうとしていたようだ。

昭和40年代には、高速道路に場所を譲り、堀川が効率面で時代遅れになった感がある。

結果、大阪には土佐堀川、東横堀川、道頓堀川の三堀川、そして川は堂島川のみとなった。また、堀川の埋め立てによりあわせて約130の橋が姿を消している。



東横堀川 本町橋



土佐堀川 錦橋(元可動せき)

今に生きる人は情緒あふれる頃の水都・大阪を知らない。そのころの水都・大阪を歩けばたちまち橋と堀川に出会えるなんて素敵ではないかと夢想する。今の道頓堀が水都・大阪のシンボルとして数多の観光客を魅了するように、かつての水都・大坂も魅力的だったのではないか。300年間保ち続けてきた大坂の堀川を戦後20年余りで失って残念と思うと同時に、あれだけの堀川と橋が残っていればもっと観光客を呼べるのに、とも思う。(参考文献 創元社刊「大坂古地図むかし案内」本渡章著)

あとがき

コロナ禍で同窓会活動の散策会中断が長引く中で、手近なコースとして大阪の橋巡り検討時に堀川の歴史に興味を持ったので、「水都大坂」をテーマにまとめたものです。

近況報告



大学 22 回 河野 博文

コロナ禍でスポーツジムを辞め、月1回の月例ゴルフと近くの公園でのジョギングで汗をかいています。

来年2月の大阪マラソンで古稀での初フルマラソンにチャレンジしようと思います。

四極会 100 周年の来年は総会も懇親ゴルフ会も盛大に開催出来ますように祈っております。

大学 33 回 佐藤 浩己

平日は奈良、週末は西宮で過ごすことを基本に生活しています。

コロナ禍ではありますが、東京、名古屋への出張は毎月している状況です。

今後ともよろしくお祈りします。

俳句



2021年9月11日のリモート飲み会にて、俳句について話題となり、早速大23回平野様より投句していただきましたのでご披露させていただきます。

今後も、俳句・川柳・短歌などを募集させていただきますので、遠慮なく事務局宛ご連絡頂きます様宜しくお願い申し上げます。

大学 23 回 平野 和彦

<今回は、「花火」という兼題でご投句いただきました>

指震へ線香花火ぽつと落つ

庭先の幼児花火競ひ合ひ

打ち上げし花火映るやガラス瓶



2021年度会費納入者名簿（敬称略）

令和3年11月30日現在

氏名	卒業	氏名	卒業	氏名	卒業	氏名	卒業
奈良定諄一	高 19	岩崎 正義	大 12	大谷 眞二	大 19	満見 毅	大 28
足立 隆男	高 19	内山 博之	大 12	田中 英一	大 19	小野 輝彦	大 29
松久 博	経 22	武下 孝治	大 12	真継 忠	大 19	河田 信雄	大 30
藤田 利男	経 24	土屋 義方	大 12	阿部 修	大 20	佐藤 敏明	大 30
瀬戸 潤一	経 24	原 尚	大 12	河内 正志	大 20	田崎 隆徳	大 32
竹村 隆之	経 25	松田洋三郎	大 12	児島 孝利	大 20	池田 浩	大 33
二宮 憲夫	経 26	三浦 英樹	大 12	津志田総穂	大 20	佐藤 浩己	大 33
細田 泰嗣	経 26	長田 弘	大 12	中倉 義介	大 20	西村 章	大 34
川崎 和	経 27	渡邊 敏信	大 12	中島 正博	大 20	坊垣 巖	大 39
河野 正道	経 27	木ノ下憲二	大 13	野瀬俊一郎	大 20	小野 正輝	大 40
牛島 恒夫	大 1	古賀 義人	大 13	原 国俊	大 20	小林以久恵	大 40
恩賀 幹雄	大 3	柴垣 俊三	大 13	古野 美歳	大 20	前田 尚子	大 41
緒方 副人	大 4	比嘉 賀昌	大 13	山岡 広和	大 20	松田 淳	大 41
嶋津 宣孝	大 4	三浦 征洋	大 13	安部 正則	大 21	山口 浩司	} 大 44
高橋 前	大 4	山下 隆士	大 13	井崎 賢二	大 21	山口 朋子	
野仲 一敏	大 4	竹尾 勝	大 13	甲斐 誠三	大 21	山中 紀子	大 46
児玉 一朗	大 6	勝 知也	大 14	河崎 照行	大 21	前田 利章	大 51
山下 澄弘	大 6	古賀 裕敏	大 14	木村 政臣	大 21		
小野 三夫	大 6	堤 眞洋	大 14	野中 千尋	大 21		
石尾 雄幸	大 7	東方 匡輔	大 15	山崎 清太	大 21		
古賀 和弘	大 7	小川清一郎	大 15	山本 良一	大 21		
大橋 伸吉	大 8	小野 仁彦	大 15	吉村鉄太郎	大 21		
岡田 昌也	大 8	佐々木武男	大 15	濱崎 義人	大 21		
高見 末雄	大 8	橋本 永爾	大 15	泉 博二	大 22		
山本 幸雄	大 8	東 賢次	大 15	井上 龍生	大 22		
浅野 信一	大 9	松本 英樹	大 15	今仁 正義	大 22		
有村 良三	大 9	村田 良一	大 15	大石 哲史	大 22		
梶田 東雄	大 9	山口 紘治	大 15	河野 博文	大 22		
小西敬一郎	大 9	畔津 俊郎	大 16	坂本 温	大 22		
坂本 哲男	大 9	加藤 剛	大 16	辻 次郎	大 22		
高田 利雄	大 9	杉浦 三郎	大 16	藤野 敬三	大 22		
橋本 彰	大 9	山邊 幹生	大 16	古田 智則	大 22		
森 信孝	大 9	有馬 敏則	大 17	石橋 英行	大 23		
山本 治	大 9	安藤 清	大 17	江良 正勝	大 23		
梅木駿八郎	大 10	宇都宮 護	大 17	神本 信正	大 23		
衛藤 慎吾	大 10	鍵本 明	大 17	栗崎 実	大 23		
岡村 伸啓	大 10	清松 壮生	大 17	新西 文仁	大 23		
河江 智	大 10	坂本 直	大 17	進来 英治	大 23		
高森 鳴實	大 10	田川 幸雄	大 17	平野 和彦	大 23		
中山 克彌	大 10	時枝 信康	大 17	福田 誠	大 23		
吉田 吉則	大 10	野村 建	大 17	宮本 勝一	大 23	高 商	計 2名
安部 亮一	大 11	長谷川浩二	大 17	工藤 俊彰	大 23	経 専	計 8名
加藤 皓以	大 11	松尾 秀人	大 17	小玉 稔	大 24	大 1～10	計 31名
利光征四郎	大 11	渡辺 靖夫	大 17	和田 安生	大 24	大 11～20	計 72名
原 光伴	大 11	和田 正彦	大 17	佐村 信哉	大 26	大 21～30	計 41名
藤丸 靖夫	大 11	高橋 聰子	大 18	松尾 信	大 26	大 31～40	計 7名
湯浅 喬	大 11	羽矢 寧典	大 18	水野 豊	大 26	大 41～50	計 4名
佐藤 克巳	大 11	真部 誠司	大 18	小俣 秀記	大 27	大 51～60	計 1名
安部 登	大 12	三谷 博	大 18	後藤 寛	大 27	大 61～	計 0名
阿部 浩	大 12	矢野 眞治	大 18	児玉 幸寿	大 28	総 計	166名

会費納入ありがとうございました。令和4年度もよろしくお願ひ致します。



粘着テープ・各種機能性フィルムの打抜加工・販売

KATO SEIKO
KATO SEIKO

取締役会長 **加藤 皓以** (大学 11 回)

株式会社 **カトー精工**

<本社> 〒566-0045 大阪府摂津市南別府町8番40号
TEL.06-6349-9120(代) FAX.06-6349-9121

<国内>相模原事業所・東海事業所・福岡事業所・仙台営業所

<中国>天津加藤精密電子有限公司・東莞加藤精密電子有限公司・蘇州加藤精密電子有限公司

<香港>香港加藤精電公司

Fukuhara

一般区域貨物運送事業
機械器具設置業・鳶土工業

代表取締役 **水 野 豊**
大学26回 和田ゼミ 軟庭



福原運輸株式会社

〒556-0022 大阪市浪速区桜川2丁目11番31号
TEL(06)6562-7377 FAX(06)6561-5693



関西四極会報も本号で第26号の発刊となりましたが、ご寄稿頂きました皆様には心から厚く御礼申し上げます。昨年に続き今年も、新型コロナウイルス感染拡大の影響により各種活動も中止が相次ぎ、今年こそはと期待しておりました年次総会も、残念ながら2年連続の中止となりました。

定例の常任幹事会も集合開催が叶わない為、リモート会議により開催しております。

又、幹事有志によるリモート飲み会も実施し画面での顔合わせも行っています。

10月に入り、ワクチン接種者の増加等により感染者数も激減し、漸く明るい兆しが見えてきました。今後も感染状況が改善され、不安のない日常生活が早く戻ってくるよう期待しています。

来年こそは是非共総会の開催ができればと思っておりますが、引き続き会員各位のご支援・ご指導を宜しくお願い申し上げます。

(大学26回 松尾 信)



<http://www.kansai-shiwasukai.club/>

